

大妻女子大学短期大学部再入学に関する細則

昭和 55 年 4 月 1 日
制定

(総則)

第 1 条 この細則は、大妻女子大学短期大学部学則(昭和 49 年 4 月 1 日制定。以下「学則」という。)第 23 条に規定する再入学について定める。

(出願資格)

第 2 条 再入学を願い出ることのできる者は、学則第 18 条により退学し、かつ、退学後 2 年以内の者とする。ただし、年度途中で退学した場合は、退学した年度の 4 月から起算し 2 年以内とする。

(再入学できる学科・専攻)

第 3 条 再入学できる学科・専攻は、退学前に在学した同一の学科・専攻とする。ただし、学年に関しては、原則として退学前と同一とする。

(再入学の時期)

第 4 条 再入学の時期は、毎年 4 月とする。

(在籍期間)

第 5 条 再入学した者の在籍期間は、退学前の在学期間を含め、4 年を超えることはできない。

(出願手続き)

第 6 条 再入学を出願する者は、次の書類を入試グループへ提出するものとする。

(1) 再入学願書

(2) 退学前の成績証明書

2 再入学願を提出できるのは、毎年 2 月の指定の期日までとする。

(選考)

第 7 条 再入学志願者の選考は、当該年度の実施要項により当該学科が行う。

(カリキュラム)

第 8 条 再入学した学生の履修すべきカリキュラムは、再入学を許可された相当年次のカリキュラムを適用する。

(既修得単位の認定)

第 9 条 退学前に修得した単位は、原則としてこれを認定し、再入学後の修得単元に通算することができる。

(履修指導)

第 10 条 再入学を許可された者に対する履修指導は、クラス指導主任及び教育支援グループにおいて行う。

(納入金)

第 11 条 再入学を許可された者は所定の納入金を指定の期日までに納入するものとする。

附 則

この細則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この細則は、平成元年 12 月 19 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 17 年 1 月 11 日から施行し、平成 16 年 12 月 1 日から適用する。

附 則

この細則は、平成 20 年 2 月 13 日から施行し、平成 20 年 2 月 1 日から適用する。